

保健センターだより

2022 春夏号

～ワクチン手帳活用のすすめ～

新型コロナウイルスワクチン接種証明の保存に困っている方はいませんか？接種証明は、今後のために、必ず保存してください。ではどのように保存するとよいのでしょうか。



予防接種はご自身と周囲の方を感染症から守るためとても大切です。幼少期の予防接種は母子手帳に記録され、保護者が管理し、感染症から守ってくれました。しかし、成人になるとご自身で予防接種記録を保存しなければなりません。

また、皆さんは今まで何の予防接種を受けたか把握していますか？予防接種は子供だけが対象ではありません。生まれた年によっては、接種していないワクチンがあったり、子供の頃に受けたワクチンの免疫力が段々弱くなり、再接種が必要になることもあります。今回の新型コロナウイルスワクチンのように、成人してから予防接種が必要になることもあるのです。

ご自分の予防接種歴を保存し、把握しやすくするために、ワクチン手帳の活用をお勧めします。母子手帳があれば、予防接種記録近くのページに自分で紙を貼り付けて、接種記録を残してください。成人してからも母子手帳を使って構いません。

あるいは、国立感染症研究所のホームページから「成人用予防接種記録手帳」をダウンロードすることができます。

[HTTPS://WWW.NIID.GO.JP/NIID/IMAGES/VACCINE/RECORD-NB/ADULT VACCINATION RECORD NOTEBOOK.PDF](https://www.niid.go.jp/niid/images/vaccine/record-nb/adult_vaccination_record_notebook.pdf)

母子手帳が手元にない方や母子手帳に抵抗感がある方は、こちらを活用してはいかがでしょうか。

また、よい機会ですから、ご自身の母子手帳を探して、予防接種歴も確認してください。

